

P-087

子ども医療に従事する看護師が
認識するTNに必要な相談能力に
関する質的研究宮下佳代子^{1,2}、細田 泰子¹¹大阪公立大学大学院 看護学研究科²大阪府立大学大学院 看護学研究科 博士後期課程

【背景】

Information and Communication Technology (ICT) を用いた遠隔医療サービスのTelephone Nursing (電話看護、以下TN) は、我が国の子ども医療において、子どもの急病や育児に対応する小児科クリニックや子ども医療電話相談事業 (#8000) で活用され、適切なトリアージとアドバイスにより適切な医療受診とホームケアができる保護者の養育スキル向上への支援、虐待予防の支援として重要視されている。TNに必要な能力は、多岐にわたるが統一した見解はなく、明確な教育プログラムもなく、従事する看護師の育成は個々の施設や事業所に委ねられている。本研究は子ども医療に従事する看護師が認識するTNに必要な相談能力を明確にすることを目的に実施した。

研究方法：A都道府県の子どもの医療電話相談事業 (#8000) に従事する看護師と小児科クリニックに勤務する看護師11名を対象にFocus Group Interview (以下FGI) を行った。FGIの内容から逐語録を作成し、TNに必要な相談能力に視点を置き文脈に留意意味内容ごとに切片化し、類似性に従って分類しカテゴリーを創出した。

【倫理的配慮】

A大学大学院看護学研究科研究倫理委員会の承認を得て実施した。

【結果】

A都道府県の子どもの医療電話相談事業 (#8000) に従事する看護師8名とA都道府県で小児科を標榜する医療機関の看護師3名にFGIを実施した。研究対象者11名の電話相談の経験平均年数は8.27年であった。子ども医療に従事する看護師が認識するTNに必要な相談能力として【子どもの状態を捉えるための情報収集能力】【相談者との関係を構築していく能力】【相談者のニーズを的確に捉える能力】【適切な情報提供のための能力】【相談者の子どもを看る力を培うための能力】【専門性の開発能力】の7つのカテゴリー、43のサブカテゴリーが創出された。

【考察】

子ども医療におけるTNでは、様々な発達段階の子どもに対する専門的な知識を有し、突発的な子どもの状態の変化に不安をもつ養育者のニーズを捉え、養育者自身が自己決定し問題解決できるようアプローチする能力が求められている。さらに自身の看護実践能力を向上し、ケアの受け手や社会に提供・還元していくこと、看護の専門性の強化と看護実践の質の改善を認識していた。

P-088

熊本豪雨災害後の母子のメンタル
ヘルスの実態と関連要因

甲斐村美智子

熊本保健科学大学

【目的】

2020年7月に発生した熊本豪雨災害は、新型コロナウイルス (以下、コロナ) 流行下であったことから複合災害ともいえ、被災者の心身の健康状態へ及ぼす影響はより大きいと考えられる。災害による影響は大人だけでなく子どもにも及び、特に乳幼児は就学児よりも精神的症状を発症しやすいことが報告されている。本研究の目的は、熊本豪雨災害から3年が経過した時点の母親と幼児のメンタルヘルスの実態と関連要因を明らかにすることである。

【方法】

2023年10～11月、被害が大きかった2市町村の保育施設に通園している3～6歳児の母親629名を対象に、無記名Web・郵送併用質問調査を行った。調査内容は、属性、災害による影響とメンタルヘルスの実態、育児に関するソーシャルサポート、幼児の心身のストレス症状などである。メンタルヘルスの実態および幼児の心身のストレス症状について、t検定、カイ二乗検定、多重ロジスティック回帰分析を行った。本研究は本学倫理審査委員会の承認 (承認番号23021) を得て実施した。

【結果】

有効回答は241部 (38.3%) であり、住宅被災ありは28.7%、うつ・不安症状ありは16.4%、PTSDありは10.1%、不眠症ありは35.0%であった。住宅が被災した幼児はそうでない児に比べ、食欲がない、一人でトイレに行けない・寝られない、気になることがある児が多い傾向にあり、豪雨の話を繰り返す・嫌がる、自分でできることもやってもらいたがる児が多かった。多重ロジスティック回帰分析の結果、母親のうつ・不安症状には災害時の避難、居住満足度、コロナによる経済的影響、年代が関連し、PTSDには災害による経済的影響、居住満足度、住宅被災、不眠症には災害による経済的影響、居住満足度が関連していた。子どものストレス症状には、母親のうつ・不安症状やPTSD、不眠症、地縁活動の参加などが関連していた。

【結論】

災害から3年が経過した復興期に相当するが、災害による母子のメンタルヘルスへの影響は続いていること、子どもの健全な成長発達のためには母親のメンタルヘルスの改善およびソーシャルキャピタルの維持・向上が重要な要素であることが明らかとなった。